

## 平成30年度事業計画

我が国の経済は、継続的な経済対策により回復基調が続くものの、デフレからの脱却は未だ達成されていない中、登別市・室蘭市管内の有効求人倍率が一倍を超え、全国平均と肩を並べております。

そのような状況で、雇用者数は増加しており、人手不足の状況が加速されております。当センターの受注額は、一昨年度から増加傾向に転じ回復基調を実感できる状況となっております。

また、会員数は、団塊の世代が65歳を超え、会員となりうる層が増加しておりますが、定年延長、民間企業の人手不足等の影響で現状維持の傾向にあります。

一方、高齢化が進む中で、シルバー人材センターには各方面から大きな期待が寄せられており、これらにこたえて、「会員増」及び「事業の拡大・多様化」を進めていくことが当センターの最重要課題と位置づけ、重点的に取り組んでいきます。

そのため、「会員による一人一仕事開拓」、「一人一会員入会」、役職員による「企業訪問による就業開拓」を進め、更なる会員増、事業拡大に努めます。

このため、役職員及び会員が一丸となり、広報や啓発活動をはじめ、様々な活動を展開し、登別市の協力を得ながら地域社会から親しめるセンターづくりを基本とした事業運営に取り組んでまいります。

平成30年度に取り組む事業項目を、次のように決めました。

### 総務関係

#### 1 各種会議の運営

センターの業務執行決定機関である理事会をはじめ、各部会、委員会を適時に開催し事業の適正な運営を行っていきます。

#### 2 会員入会の促進

高齢者が臨時的かつ短期的な就業を通して、地域社会の中で生きがいを持って健康で豊かな生活を送れることが、シルバー事業の理念です。また、新規会員の加入促進を図ることは、安定的な受注確保をするうえで不可欠な課題であります。このため、会員、役職員が協力しあい、健康で働く意欲のある会員の入会を促進してまいります。

- (1) 会員と役職員で協力し合い、口コミ等による「会員ひとりが一人の加入促進」運動を引き続き実施し、会員入会の促進に努めます。
- (2) 毎月、「第2週・木曜日」と「第4週・水曜日」に『入会説明会』をし、シルバー事業に対する理解と協力を得て会員の入会に努めます。
- (3) 会員の入会促進を図るため、就業の開拓の取組みと併せて、新規会員、特に、女性会員

の入会に努めます。また、女性会の設立に向け検討します。

### 3 行政機関や各種団体等との連携

事業の円滑な運営のため、登別市や関係機関・団体等をはじめ、北海道シルバー人材センター連合会及び他市センターとの情報収集等に努めます。

### 4 広報活動の充実

会報「よろこび」の発行や、シルバーまつりなど様々な機会を通じて情報の提供に努めます。

(1) 会報「よろこび」を年4回発行し、会員や賛助会員等に配布します。

(4月号、7月号、10月号、1月号)

(2) 市の公共施設等に、センターのパンフレットと会報「よろこび」を置き、広報活動に努めます。

(3) 市民との触れ合いやセンター事業の理解を深めてもらうために、「第8回シルバーまつり(2018)」を平成30年9月23日(日)に開催します。

### 5 会員組織の充実

(1) センターの運営状況や事業活動、各種行事等をテーマに役職員、事務局そして会員との意思疎通を図り、地区別懇談会を毎年2月の中旬に開催し、会員の意見要望を聴取して組織の活性化に努めます。

「平成31年2月12日・13日・14日」に開催

(2) 地域班独自の懇談会や交流会等の開催にあたっては、センターの助成制度の積極的な活用を周知し、支援に努めます。

(3) 会員の意見交換会の場として、職種別懇談会を開催します。

### 6 事務局の効率的な運営

事務局内における情報の共有化を図り、各種研修会等への参加によって、職員の事務処理能力の向上に努め、業務の円滑な運営と効率化を促進してまいります。

(1) 北海道シルバー人材センター連合会の主催する各種の会議等に積極的に参加し、役職員として、資質の向上に努めます。

### 7 地域社会参加活動

地域社会に親しまれるシルバー人材センターを目指し、市民の理解・関心の向上のため、会員と役職員が協力し合い、ボランティア活動を実施します。

(1) 登別漁港の清掃奉仕活動(9月中旬)

(2) アイラブロード(市道カルルス路線)の美化事業への参加(7月)中旬

## 8 財政基盤の強化

財政基盤の確立は、最も重要な課題であります。このため、国、市からの補助金の確保や公共施設管理等の新規事業の要請に努めます。また、全国シルバー人材センター事業協会の要請活動と併せ登別市長に独自要請を行います。

## 9 基本計画の推進

基本計画（平成27年度～平成31年度）に基づき、単年度ごとに検証をし、その実行に努めます。

## 10 情報公開の推進

- (1) センターの事業計画書、収支計算書等について、一般の閲覧に供するなど情報公開に努めます。
- (2) ホームページの内容を随時更新し、より新しい情報発信に努めます。

## 11 理事会の活性化

各部会、各委員会の組織運営の活性化と理事の資質向上を図るため、合同会議や研修会等を開催します。

## 12 福利厚生事業の実施

福利厚生施策として、要綱に定める慶弔事業を行います。

### 事業開発関係

#### 1 仕事量の確保

事業の普及啓発と就業の確保・開拓に向けての取り組みが重要課題であります。このため、就業開拓の促進に努めます。

- (1) 「会員一人が一就業確保」を合言葉に、会員各自が近隣へのロコミ活動、役職員が一丸となり、市内企業、団体や賛助会員などへの訪問活動を通して、会員の就業機会の拡大に努めます。
- (2) 就業開拓推進員を配置し、就業機会の拡大や会員数の増大などセンターの基盤を拡大する取り組みを実施します。
- (3) 労働者派遣事業の一層の推進を図るため、シルバー連合（連合本部と登別市事務所）との連携・協力のもと、会員の就業の機会の拡大に努めます。
- (4) シルバー事業の活用と新規会員の加入促進を目的として、10月シルバーの日に大型店舗前でパンフレット等を配布する啓発活動を行います。
- (5) 市広報誌にパンフレットを折込み、全戸配布し、会員の増加及び受注の拡大を図ります。
- (6) 就業開拓推進員との連携・協力を一層推進し、業務の拡大に努めます。

## 2 就業機会の適正化

- (1) 会員の就業機会の公平化を図るため、可能な限り就業のローテーション化を図り、就業人員の拡大に努めます。
- (2) 就業現場の実態把握の為にパトロールを実施し、発注者との意思疎通を図り、改善点があれば是正に努めます。
- (3) 就業経験のない仕事へのチャレンジを呼びかけるなど、ミスマッチの防止解消に努めます。

## 3 会員の能力向上

発注者から信頼される就業に向け、会員の技能・技術等の向上を図るための技能講習会を実施します。

- (1) 就業のために必要とする技術と技能の向上を図るため、併せて新会員の増強のため技能講習を実施します。
  - ・草刈講習 年2回開催
  - ・剪定講習 6月・9月
- (2) 剪定新規就業会員の初期投資負担軽減策として、器具の一部（脚立・電動バリカン）を希望会員に対し期間限定で無償貸与支援します。
- (3) 新入会員が不安なく就業できるよう、就業相談を実施します。  
年2回 10月下旬・3月中旬
- (4) 外部講師による全会員を対象とした、接遇研修を実施します。  
年1回 7月

## 4 自主事業の調査・研究

会員の就業に適した事業の可能性を調査・検討していきます。

- (1) 会員提案制度の活用  
新規事業、既事業の発展・改善、会員の増加、安全諸施策等に関し会員からの積極的な意見、提案を促し業務の推進に努めます。
- (2) 生活支援事業の業務拡大について、具体策を作成し推進します。
- (3) 生活支援事業の拡大のため、女性会員の増強を図り、その増強策について、総務部会と連携しながら検討します。

## 安全就業関係

『平成30年度 事故防止重点実施項目』

スローガン

《 ネットで守ろう 飛石から 》

サブスローガン

- ・ ネット、シートを張って飛石を防ごう
- ・ 人、建物、車等を守ろう 飛石から

### 1 安全就業の徹底と事故防止

「安全は第一であり、すべてに優先する。」を合い言葉に、無事故を目指します。

- (1) 安全就業実施計画を作成し、年間をとおして安全就業の推進を図ります。
- (2) 新入会員には、「作業別安全基準」と、シルバー人材センター安全のしおりを配布します。
- (3) 安全就業委員会において、安全就業委員及び安全対策推進員による就業シーズンの最盛期である7月に安全パトロール重点実施期間を設け実施します。この外、必要に応じ安全パトロールを実施します。
- (4) 会員に対し、「安全標語」の募集を行い入選作品について会員に周知します。
- (5) ヒヤリ・ハット体験事例の報告を求め安全意識の向上に務めます。
- (6) 新規受注にあたっては、事前に発注者宅を訪問・下見し、仕事の内容や就業形態等を確認してから会員への提供に努めるなど、会員の安全かつ適正就業の確保に務めます。
- (7) 作業中の安全意識を高めるため、安全ワッペンを就業会員に配布します。

### 2 安全就業普及活動の実施

- (1) 会員の安全就業啓発のため、定時総会時に併せて「安全宣言大会」を実施し事故防止の意識高揚に努めます。
- (2) 全国安全週間及び安全就業強化期間に併せ、「安全宣言式」を実施し、安全確認の徹底を図ります。
- (2) 会報「よろこび」等を通じて、安全就業委員会による「安全だより」の発行を行い、安全就業に関する意識の高揚を図ります。

### 3 会員の健康管理

- (1) 就業にあたって会員の健康管理が最も大切です。日常的な健康管理はもちろんですが、年1回は自主的に健康診断を受診するよう積極的に奨励するとともに、受診結果の報告を求めます。
- (2) 登別市担当グループの協力を得て、会員の健康維持のための「健康講話」を開催します。
- (3) 登別市消防署の協力を得て、救命処置要領等の修得のための「救命講習会」を開催します。(公共施設に就業している会員は受講すること。)

#### 4 交通安全

多発する交通事故、高齢者ドライバー運転等についての交通事故防止のため、関係機関の協力を得て、「交通安全講習会」を開催します。また、登別市主催の交通安全運動（人と旗の波街頭啓発運動）に参加します。

#### 5 情報収集と自己研鑽

他団体等の各種行事に積極的に参加し情報を収集するとともに、自己研鑽を図ります。

### 指定管理者としての施設管理

指定管理者として、管理運営する登別市労働福祉センターについて、市との協定書等に基づき、適正な管理運営に努めます。

### 職業紹介事業

臨時的かつ短期的な雇用による就業又はその他軽易な業務に係わる就業を希望する高齢者等に関係機関と連携し、職業紹介事業を行います。